



この『学び』は社会でどう使うの？を 教えてくれるゲーム

安本 汐良（中学3年生：東京都）

私は、学校での『学び』は社会でどう使うの？ということを知りやすく教えてくれる、そんなゲームがあれば良いな、と思いました。なぜなら中学校で日々学んでいると、「この学びは社会でどう使うの？」と思うときが多いからです。特に数学では、因数分解、合同証明、等積変形など社会で使用されているところがすぐに思い浮かばないものがたくさんあります。クラスメイトなどの様子を見てみると、英語など、今後使うであろうとはっきりわかっているものと、そうでないものとは学習意欲に差が出ているように感じました。

ゲームな具体的な案としては、算数ではなく、数学を使った買い物ゲームです。日々の食材は土日などにまとめ買いする人が多いと思います。このときに、一週間分のメニューを考え、必要な分だけ購入しています。具体的には、月曜日にオムレツとトースト四人前、火曜日には目玉焼き四人前とトースト四人前作るとします。オムレツと目玉焼きは、一人前卵一つと、トースト四人前はパン一袋、卵一つを x 、パン一袋を y と置くと、 $(4x+y)+(4x+y)=2(4x+y)=8x+2y$ 、つまり一回の買い物で卵8つとパン二袋を買えば一回の買い物ですむわけです。このように、文章で置くとわかりづらくなってしまいますが、実際に手を動かしてプレイできるゲームならば、より面白く、わかりやすく学べるのではないかと思います。

このようなゲームをプレイすれば、社会により関心が深まり、物事を広い視点で見ることができるようではないかと考えています。そして先生がこのゲームで、学校での学びが社会でどう使用されているかを知ることにより、先生から生徒に伝わり、学習意欲や成績の向上が望めるのではないかと思います。